

「着物」を通じた日本文化の理解を広める

～中南米から日系社会研修員 6 名が来日～

国際協力機構(JICA)の日系社会研修に参加するため、11月11日～12月22日までブラジル・チリから6名の研修員が来日しています。

日系社会研修は、中南米地域からの日系社会研修員の受入を通じ、日系社会の発展と移住先国の国造りに貢献することを目的としています。

本研修は、日本の伝統文化の一つである「着物」の活用や普及、保存管理に関する知識・技術を有する人材育成を行う研修プログラムとなっています。

研修後、知識・技術を身に着けた研修員が自国に戻り「着物」を通じた日本文化理解の促進、着物関連イベントを実施する等、日系社会及び地域社会の活性化に貢献することが期待されています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染防止対策を行いながらの3年ぶりの来日研修となります。取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

<研修概要>

研修コース名：2022年度日系社会研修「着物を通じた日系社会活性化」

研修期間：2022年11月11日(金)～12月20日(火)

研修参加者：6名

研修参加国：ブラジル、チリ

研修委託先：公益財団法人海外日系人協会

<和裁組合での実習の様子取材可能日>

講義名：和裁

講師：神奈川県和服裁縫協同組合 理事長 及川伊東志

日程：11月25日(金)、29日(火)

場所：横浜市技能文化会館

*他講義などの取材については下記へお問い合わせ願います。

以上

【本件に関する問い合わせ先】	JICA 横浜
JICA 横浜 研修業務課 担当：照井	JICA 横浜ウェブサイト
TEL:045-663-3221 FAX:045-663-3265	https://www.jica.go.jp/yokohama/
e-mail: Terui.Erina.2@jica.go.jp	